

第35回 〈ケア〉を考える会-岡山

■日時： **2017年11月11日(土)** 14:00~16:30

■会場：川崎医療福祉大学 本館6階6001演習室

<http://www.kawasaki-m.ac.jp/mw/access/index.php/>*

※建物の1階(防災センター)から備え付けのスリッパに履き替えてお上がり下さい。

駐車場は、福祉大学の職員・学生駐車場(病院とは道をはさんで北側)が利用できます(1時間100円)。

■会費：無料。どなたでも参加できます。



■内容

ケアマネの現場から

～『答え』のない世界で、がむしゃらになっているようなところがあります。これでいいのか悩み迷います。
そんな私の『現場』を知ってほしい～

報告： **西澤 里美** さん (主任介護支援専門員・看護師・認知症ケア専門士)



▼高齢者二世帯。夫婦にそれぞれ認知症の症状があらわれました。「ドクターショッピング」に走る妻。暴力的になる夫……。

▼脳血管性認知症の高齢者。同居の子は精神疾患を抱え、孫は不登校となっています。家族がそれぞれの「生きづらさ」を受け入れることができません、ぶつかり合います。

▼母と独身の息子、二人助け合って暮らす。母は自分がいなくなった後の息子を思い、息子は母に長生きをしてほしいと願う。

▼ケアマネに何ができるでしょうか。
「たかがケアマネ、されどケアマネ。」



■問い合わせ：884michiya@gmail.com 090-5366-1497 (林)



「〈ケア〉を考える会-岡山」とは……

▼岡山(倉敷)で、〈ケア〉について学び考えています。

〈ケア〉といえば、「看護」「介護」「支援」「世話」などが頭に浮かびます。超高齢社会を生きる私たちにとって、切実な課題の一つです。そして、〈ケア〉は、もっと広く捉えることもできます。たとえば広井良典氏は、ケアを「人と人との間の『関係性』という意味に理解してみたい」と述べ、さらに、個人がコミュニティや自然などとつながっていくような方向でもケアを考えます。「『ケアの哲学』とでもいうようなものが必要」とも言っています。また、鷲田清一氏は「臨床哲学」の重要テーマの一つに「ケア論」を置き、「ケア」の奥深さをさまざまに説いています。それに、「死生観」、「生」と「死」について、リビングウィル、終末期医療も、〈ケア〉を抜きには考えられません。

この会では、〈ケア〉について、身近なところから理念的なものまで、そして、狭い意味からから広い意味まで、幅広く深く考えていきます。

▼この会の参加者は、医療・看護・介護・福祉・教育などの現場、または地域や家庭などで〈ケア〉に関わっている方、大学や学校で〈ケア〉の教育・研究に携わる方や学んでいる方、さらに、その他、〈ケア〉に関心や関係のある方などです。〈ケア〉に関わる人たちが学び交流することで、明日からの力を得る「場」となることを願います。この会は参加者の“つながり”を大切にします。

※ ホームページ ⇒ <http://okayama-care.jimdo.com/>

